

## 秋田市で親子向け教室 食事の時の大切さ学ぶ



7月10日の「納豆の日」にちなんだ親子向け食育教室が、秋田市手形のグリーンローズてがた保育園（加藤加奈子園長）で開かれた。

「おはよう納豆」などを手がけるヤマダフーズ（美郷町、山田伸祐社長）が協力し、同社マスコットキャラクター「おはよう娘なっちゃん」も登場した。

3～5歳児と保護者約60人が参加。同園職員が納豆の歴史を紙芝居で紹介したほか、保育士らがヒーローに扮して寸劇を披露した。食事の大切さや食事中は正しい姿勢を取るよう親子に呼びかけた。加藤園長は「教室を通じて、子どもたちに健康な心と体をつくってほしい」と話した。同園は毎年食育教室を開いており、今年は11日に実施した。（島田実侑）

## 由利本荘市東由利 ささ巻き作り 園児38人挑戦

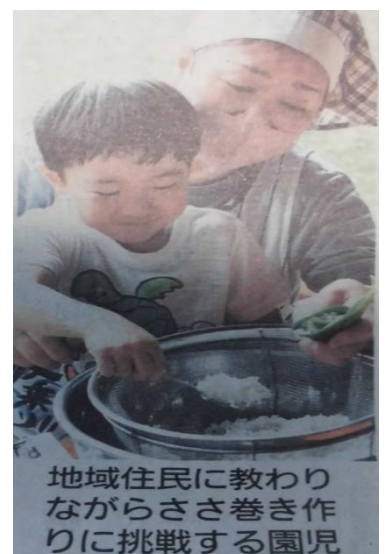
由利本荘市東由利館合の認可保育園「えみの森」（畑山玲子園長）で、園児38人が東由利地域などで食べられているささ巻き作りに挑戦した。地域住民に教わりながら伝統食作りを楽しんだ。

園児はササの葉2枚を三角すい形に丸めてもち米を入れ、丁寧に巻いて輪ゴムで縛った。最初はうまく巻けずに苦労していたが、徐々にコツをつかむ子どももいた。

もち米3升を使って1時間ほどで約150個を手作り。鍋に入れ、まきストーブで30分ほど煮込んで完成させた。

昼食時に出来たてをきな粉見にまぶして味わった。佐藤真凜ちゃん（5）は「作る時にササの葉をくるっと丸めるのが楽しかった。とてもおいしい」と笑顔を見せた。

えみの森は、東由利地域の永慶保育園とみどり保育園が統合して4月にできた。ささ巻き作りは11日に行われた。みどり保育園の恒例行事だった。（二木佳奈）



地域住民に教わりながらささ巻き作りに挑戦する園児